

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
 お空はちっとも飛べないが、
 飛べる小鳥は私のように、
 地面を速くは走れない。

私がからだをゆすつても、
 きれいな音は出ないけど、
 あの鳴る鈴は私のように
 たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
 みんなちがって、みんないい。

『金子みすゞ全集』
 JULA出版局より

《私の好きな詩》 ----- 岩本 栄》

一人暮らしが心細くなったという母に寄り添い生きてゆこうと決め、45年振りに故郷に帰り、自分の晩年の生き方を模索する日々。ふと頭に浮かんだのが金子みすゞの詩を教材に子どもたちと一緒に学び、生き直すことだった。住まいの一部を改築して母の華道のけいこ場と兼用で使えるバリアフリーの小さな山小屋風の空間を作ったのが始まり。

ロコミで集まってくれた小四から中二までの男女七人の子どもたちと、たまたま知り合った若いアメリカ人女性と、アメリカに留学中一時帰国し一緒に宣教活動をしている日本人女性という二人のシスターが加わり、ユニークな英会話の学びの場が出来上がった。

“私と小鳥と鈴と”の最後の二行をどう英訳するかが難しいと常々思っていたのだが、よしだみどり訳とD、P、ダッチャー訳の二通りの英訳を得て、「これだ！」と思い子どもたちと比較しながら読んでみた。

“みんなちがって、みんないい”をどう解釈するか？みんなちがっていて、みんなそれぞれに素晴らしいのだ、というのか。それとも、みんなちがっていて、ちがうそのままそれでいいのだよ、というのか。子ども達、シスター達の意見は見事に二つに分かれた。女の子はどうやら前の方が好きで、男の子は後の方。アメリカ人のシスターは後、日本人のシスターは前。金子みすゞの詩は英訳で読むことでこんなに拡がりを見せた。コトバの不思議を考えさせられる。まさに『みすゞコスモス』。どんどん拡がる言葉の世界。

「実存の絶対的肯定」と「人間礼讃」。私は金子みすゞのコトバの宇宙をこのように考えている。＜在る＞ことをそのまま認める寛容の精神。モノ・イキモノ・ヒト・カミ全てがそれぞれ存在することをそのまま受け容れる。そうしてそうした感性を持つ人間への限りない賛歌。金子みすゞは自分の感性を独自のものとは考えていなかったのではないか。人はみな自分のように素直にものを見るものだ。そうした共感をやさしいコトバ、まさに万物、神にも通じる言葉で表現しようとしたのではないかと私は思う。

今、ここにあるもの全てに心を通わせる。生きているとはそういうことではないか。金子みすゞの「みんな共に生きてゆこうよ。」というやさしい声とまなざしが詩から降り注ぐのを感じる。金子みすゞの詩は、「教育とは、それぞれの文化の中で生き方をつたえるところみである。」(鶴見俊輔)に通じる。

参考図書 『睫毛の虹』(よしだみどり訳・絵)・『サムシングナイス』(D・P・ダッチャー訳) [いずれもJULA出版局] 『晩年様式集』(大江健三郎著) [講談社] 『現代の教育—いま教育を問う』(岩波講座 鶴見俊輔文) [岩波書店]

定例会日時のお知らせ

☆日時：毎月第2木曜日 AM10時～12時30分まで
 ☆場所：新居浜市まちづくり協働オフィス

エッセイ募集

☆私の好きなみすゞの詩
 ☆どしどしご投稿下さい。

Tel/0897-65-3158/Fax0897-65-3157/info@niihama-kyodo.jp・090-5642-7809 yuyu1221@cream.plala.or.jp(矢幡)



会員の期限更新のお願い

可愛い花が咲きみだれ、さわやかな季節になりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

一年の過ぎるのは早いもので、会員の皆さまに更新の手続きをしていただく時期となりました。

昨年度は、新居浜市内の新1年生に「夕顔の種」を贈りました。10月には「金子みすゞ生誕110年」を、矢崎節夫先生・一龍斎春水先生・らくさぶろうさんをお迎えして開催し、多くの皆さまとともに楽しい時間を過ごすことができました。また、年間を通じてジャスコイエローシート運動への参加や、些少なながら「東日本大震災義損金・こだまでしょうか募金」に協力いたしました。

1年間ご協力くださいませありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

これからも、『みすゞさんのやさしいところ』を大切に「石鎚みすゞコスモス」をみんなで育ててまいりたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

なお、会をよりいっそう充実するためのご意見・ご希望等をどしどしお寄せください。

★年会費・・・2000円(通信費・事務費など)

★お振込み日・・・お早めをお願いいたします。

郵便振替用紙を同封いたしましたので、よろしくお願いいたします。

(近くの役員にお渡しいただいても結構です)

今年度予定

★8月24日(日)17時より・・・佐治晴夫先生を囲んで

場所：こころ 参加費：5500円(ワンドリンク付きディナー3500円を含む)

★11月24日(月)・・・第17回石鎚みすゞコスモスの集い

下記の通り

石鎚みすゞコスモス情報

第17回石鎚みすゞコスモスの集い

金子みすゞの宇宙

うた

「響け童謡ごえ夢ある子らへ」



★一部：みすゞトーク
受けつがれる童謡(仮)

—矢崎節夫—

聞き手：らくさぶろう

★二部：コンサート

ちひろが歌う

童謡の世界(仮)

—ちひろ—

日時：11月24日(月)13:00～

場所：新居浜市市民文化センター中ホール

参加費：2000円 高校生以下：500円

みんなで楽しい集いにしましょう

(ご意見・ご希望をお聞かせ下さい)

ご協力をよろしくお願いいたします

この『うずまきぎんが』は、
ぼくの第二童謡集です。

第一童謡集『ぼくがいないとき』
の発行から、三十二年もすぎてしまいました。でも、童謡が大好きなぼくは、
三十数年前と同じく、いえ、それ以上のワクワクさで、五か月間、まっすぐに
童謡に向かうことができました。
… … … (あとがきより)



ごめんね
ないのかな
ないのかな
「ごめんね」ということば
いちどけんかをしても
あればなかなかおりに
いぬやねこや
さるでも
あるのにな
あるのにな
「ごめんね」ということば
どんなにけんかをしても
いえばなかなかおりに
ひとはいつも
だれとも

『うずまきぎんが』LULA出版局より

新居浜市まちづくり協働オフィスのホームページ内
活動のブログ

ユーザー名石鎚みすゞコスモス パスワード imisuzu

……………

日々の生活で見つけたみすゞさんの心をご投稿下さい

石鎚みすゞコスモスを結成して12年目を迎えました。今年は、初心にかえり、みすゞさんの童謡をみんな楽しくよみ、感じる年でありたいと思います。矢崎先生の『第二童謡集』が、発刊されました。1つ1つ+が愛らしく、子ども心が甦ってくるようです。なかなか言えない「ごめんね」…今年には言えるといいなあ！と思っています。